

中国革命宣伝画展



明治大学博物館

駿河台校舎アカデミーコモン地階

JR 御茶の水駅下車
MTR 神保町駅

〔入場無料〕

1月10日(水)～30日(火)

開館時間：10:00～17:00

主催：明治大学現代中国研究所
白水社 後援

中国革命宣伝画展



革命宣伝画（プロパガンダ・ポスター）は中国共産党の正統性を宣伝するとともに、最高指導者の毛沢東を唯一無二の存在として称揚し、その思想を普及させるための政治的な増幅装置だった。中国版アバンギャルド、あるいはプロパガンダ芸術ともよばれる。中共が革命の聖地とよぶ延安で1938年に創立した魯迅芸術学院が革命宣伝画の創出に大きな役割を果たした。その手法は単純で、中国共産党史観に基づいて善悪を明確に区別し、無産階級の労働者（工）、農民（農）、軍隊（兵）のいわゆる「工農兵」を、それらを指導する毛沢東や共産党とともに大きく、明るく、爽やかに描き、国民党や日本軍、そして有産階級を卑屈に、小さく、暗く表現した。この手法は中華人民共和国の建国後も人民を教化、支配する装置として進化し、文化大革命の混乱と狂気のなかでその頂点を迎えた。



<展示品>

- 革命宣伝画（大84枚／小93枚）
- 毛沢東バッジ（120個（本物／レプリカ））
- 毛沢東バッジ金型（5個）
- 毛沢東著作各種（赤表紙）
- 毛沢東語録
- 関連書籍・写真集・雑誌・図録（多数）
- 関連郵便切手（多数）
- 毛沢東写真（50枚）
- 文革当時に使われた写真機（2台）
- 毛沢東胸像（1体） その他多数



<出版連動企画>

文化大革命 <造反有理>の現代的地平
(白水社刊)

絶賛発売中!



あの時代は
何だったのか?

徐友漁や宋永毅、矢吹晋ら世界的権威が、
新事実から新左翼まで文化大革命を論じ尽くす決定版。
貴重な図版50点をオールカラーで掲載。